

【中須地区】

市長と語ろう！もやいミーティング概要

- 1 日時 平成25年12月18日（水） 18:30～20:00
- 2 場所 中須公民館
- 3 参加者数 17名
- 4 出席者 市長 木村 健一郎
副市長 青木 龍一
企画総務部長 住田 英昭
行政改革推進室長 久村 信幸
- 5 会議録

（中須 - 01：中山間地域の振興）

Q) 中須のように人口減少や高齢化が進んでいる地域でも、皆が温かく生活できる方法を考えてほしい。

市長) 本市において、中山間地域は非常に大切と考えており、現在、中山間地域振興課・農林課・コミュニティ推進課・ふるさと振興財団が協力し、多層的に地域の振興に取り組んでいる。各地域でも、様々な取り組みをしていただいているので、まずは、頑張る地域を支援したいと考えている。また、若者に期待しているので、若者達に活躍の場を与えてほしい。

（中須 - 02：防災無線の整備）

Q) 防災無線はいつ整備されるのか。できるだけ早く整備してほしい。

企画総務部長) 現在、基本計画を策定中であり、平成26・27年度で基本設計、実施設計、その後28年度から30年度に整備となる。基地局を作ることになるため、庁舎建設に合わせて整備を進めたい。また、エフエム周南を活用し、各世帯に情報がすぐに流れる体制にし、自宅で情報を得ることができるような形で進めたい。

（中須 - 03：耕作放棄地の対策）

Q) 耕作放棄地が多い。農地転用も含め、簡素に利用できるようにしてほしい。

市長) 耕作放棄地の対策として、現在、様々な補助を行っている。今後は、付加価値の高い農業への取り組みを目指し、国や県と連携してしっかり取り組みたい。

(中須 - 04 : 農業用水不足への対策)

Q) 自分の地域は水が不足しがち。利用している大溝水道は八代の須河内から引いており、5～6人で管理。高齢化で今後の管理が難しいので、状況を把握し、何らかの手立てを考えてほしい。

市長) 担当に伝えて、どのようなことができるのか検討させたい。

【農林課】

農業用施設の維持管理は、高齢化や担い手不足による継続の困難が全国的な問題となっていることから、国の取り組みとして、平成26年度より多面的機能支払交付金事業が開始される。用水路を例にとると、泥上げ・草刈り・補修・布設替えなどの維持管理や機能向上に対し交付金が支給される。地域で組織を作れば制度に加入できるため、農林課に相談してほしい。

(中須 - 05 : 中須小学校の存続)

Q) 学校と地域が連携して、子どもを対象とした様々な行事を行っている。児童数は減っているが、今後も子ども達と触れ合いが続くことを願っている。

市長) いただいたご意見は教育委員会へ伝える。子ども達は地域の宝であり、これからも子ども達のことをよろしく願いたい。

【学校教育課】

中須小学校は、複式学級編成の過小規模校となっており、適正規模・適正配置を目指し、沼城小学校への統合が必要と考えている。適正配置にあたっては、学校が地区で果たしてきた役割や地域事情に十分配慮し、保護者や地域住民と十分協議しながら進めていくことが必要と考えている。地域と子供たちのつながりは重要であり、今後も積極的に地域行事に参加できるよう配慮し、子ども達と地域の連携を継続させたい。

(中須 - 06 : 児童養護施設への支援)

Q) 児童養護施設(共楽園)は、国や県の補助金が少なくなり、維持管理が大変。ボランティアグループ「サポートする会」を立ち上げ、これまで支援してきた。市もそうした施設へ支援をしてほしい。

市長) 市と県それぞれに役割があるため、県へ要望要請する部分はしっかり行いたい。それとともに、児童養護施設に入らざるを得ない子どもを減らせるよう、新庁舎の建設に合わせ、子どもの問題も含めたあらゆる困りごとの総合相談窓口を設置したい。これまでのボランティア活動には、敬意を表するとともに感謝申し上げたい。

(中須 - 07 : 空き家対策)

Q) 空き家が増えてきた。倒壊の危険があるものは、市で対応できないか。

市長) 空き家等の適正管理に関する条例を制定した。ただし、所有者の了解を得ずに行政代執行を行うことは難しい状況である。しかしながら、どうしても危険と判断される場合は、行政代執行は避けられない課題だと考えている。

(中須 - 08 : 八代地区の消防体制)

Q) 八代地区で火災が発生した場合、光消防との関係上、中須地区から消防団がすぐに駆けつけることができない。八代地区での消防活動の際の連絡体制について聞きたい。

市長) 八代(熊毛区域)は、光市・田布施町と一部事務組合を作り運営している。周南と光の両消防長へは、よく連絡を取り合うようお願いしている。詳しい状況を消防に伝え、課題は早急に解決したい。

【消防総務課】

八代地区の消防団出動体制及び消防活動は、「熊毛・八代地区における消防団出動体制等調整会議」において協議決定された内容で運用している。今後も、光地区消防・周南市消防団と連携を取りながら、消防体制の充実強化に努めたい。

(中須 - 09 : もやいミーティング)

Q) もやいミーティングは市の職員が多く、会場に入りづらい。次の会場では、円卓を囲んだざっくばらんな会議にしてはどうか。

市長) 今回は次期まちづくり総合計画策定のため、関係者が出席している。別の機会で、ざっくばらんな話し合いを行いたい。

(中須 - 10 : 支所の存続)

Q) 市と地域とのパイプ役となる支所は残してほしい。

市長) 支所・公民館の機能は必ず残す。

(中須 - 11 : 大田原自然の家の存続)

Q) 大田原自然の家は、子ども達の生きる力を育む貴重な場所なので、新しい建物に建て替えてでも残してほしい。

市長) 大田原自然の家は、老朽化しているが、特別警戒区域に位置していることから、建替えは難しい。どのような形で継続するかは、皆さんと一緒に考えたい。自然の家で行われている取り組みは評価している。

(中須 - 12 : 大田原自然の家の存続)

Q) 大田原自然の家では、家庭や学校ではできない素晴らしい教育が行われている。是非、施設を存続してほしい。

市長) 大田原自然の家ですばらしい教育が行われていることは認識している。何らかの良い方策を、一緒に検討してまいりたい。

(中須 - 13 : 大田原自然の家の存続)

Q) 大田原自然の家は非常に素晴らしいところであり、ボランティアグループが施設の維持管理に努めてきた。今後も残してほしい。

市長) 思いは理解できる。今後については良い方法を考えたい。

要約一覧

中須地区

管理 NO	内容	担当			質問	回答
中須-01	中山間地域の振興	コミュニティ推進課	中山間地域振興課	農林課	人口減少や高齢化が進んでいる地域でも、皆が温かく生活できる方法を考えてほしい。	中山間地域振興課・農林課・コミュニティ推進課・ふるさと振興財団が協力し、多層的に地域の振興に取り組んでいる。まずは、頑張る地域を支援したい。
中須-02	防災無線の整備	防災危機管理課			防災無線はいつ整備されるのか。	現在、基本計画を策定中。平成26年から27年で基本・実施設計、その後28年から30年に整備。情報伝達はFMしゅうなんを活用し、各世帯で自宅にて情報が得られる体制にしたい。
中須-03	耕作放棄地の対策	農林課			農地転用も含め、耕作放棄地を簡素に活用できるようにしてほしい。	付加価値の高い農業への取り組みを目指し、国や県と連携してしっかり取り組みたい。
中須-04	農業用水不足への対策	農林課			大溝水道の管理について、何らかの手立てをを考えてほしい。	担当に伝えて、どのようなことができるのか検討させたい。 【後日、担当課回答】 農業用施設の維持管理は、平成26年度より多面的機能支払交付金事業が開始され、用水路の維持管理や機能向上に対し交付金が支給される。地域で組織を作れば制度に加入できるため、農林課に相談してほしい。

管理 NO	内容	担当			質問	回答
中須-05	中須小学校の存続	学校教育課			学校と地域が連携して、子供を対象とした様々な行事を行っている。今後も子供達と触れ合いが続くことを願っている。	<p>いただいたご意見は教育委員会へ伝える。</p> <p>【後日、担当課回答】</p> <p>中須小学校は、適正規模・適正配置を目指し、沼城小学校への統合が必要と考えている。適正配置にあたっては、学校の地区での役割や地域事情に配慮し、保護者や地域住民と協議しながら進めていく。今後も、子ども達が地域行事に参加できるよう配慮し、子ども達と地域の連携を継続させたい。</p>
中須-06	児童養護施設への支援	こども家庭課			児童養護施設を支援してほしい。	県への要望要請はしっかり行いたい。新庁舎の建設に合わせ、児童養護施設に入らざるを得ない子どもを減らせるよう、子どもの問題も含めたあらゆる困りごとの総合相談窓口を設置したい。
中須-07	空き家対策	生活安全課			倒壊の危険があるものは、市で対応できないか。	空き家等の適正管理に関する条例を制定したものの、所有者の了解を得ずに行政代執行を行うことは難しい状況。しかしながら、危険と判断される場合は避けられない課題だと考えている。

管理 NO	内容	担当		質問	回答
中須-08	八代地区の消防体制	消防・警防課		八代地区での消防活動の際の連絡体制について聞きたい。	八代地区は、光市・田布施町との一部事務組合による消防体制となっている。 【後日、担当課回答】 八代地区の消防団出動体制及び消防活動は、「熊毛・八代地区における消防団出動体制等調整会議」において協議決定された内容で運用している。今後も、光地区消防・周南市消防団と連携を取りながら、消防体制の充実強化に努めたい。
中須-09	もやいミーティング	政策企画課		もやいミーティングは市民が会場へ入りづらい。円卓を囲んだざっくばらんな会議にしては。	別の機会で、ざっくばらんな話し合いを行いたい。
中須-10	支所の存続	行政改革推進室	コミュニティ推進課	市と地域とのパイプ役となる支所は残してほしい。	支所・公民館の機能は必ず残す。
中須-11	大田原自然の家の存続	行政改革推進室	生涯学習課	大田原自然の家は、新しい建物に建て替えてでも残してほしい。	大田原自然の家は、老朽化しているが、特別警戒区域に位置しており、建替えは難しい。どのような形で継続するかは、皆さんと一緒に考えたい。
中須-12	大田原自然の家の存続	行政改革推進室	生涯学習課	是非、施設を存続してほしい。	何らかの良い方策を、一緒に検討したい。
中須-13	大田原自然の家の存続	行政改革推進室	生涯学習課	ボランティアグループが施設の維持管理に努めてきた。今後も残してほしい。	今後については良い方法を考えたい。